

鹿島高等学校・附属中学校の学校概要について

| | |
|---------|---|
| 対 象 校 | 鹿島高等学校（鹿嶋市城山2-2-19） |
| 設置形態等 | 1 形 態 併設型中高一貫教育校 2 学科等 併設型中学校 1学年1学級（40人） 令和2年4月開校 併設型高等学校 普通科・単位制 6学級 |
| 学 期 制 | 2学期制 |
| ね ら い | <p>《生徒一人一人の夢や希望をかなえる学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域の中の学校」として、6年間の計画的・継続的な教育活動を柱に、生徒の個性を伸長するとともに、探究活動や国際教育、科学教育等に重点を置いた教育を展開し、豊かな人間性と「起業家精神」を兼ね備えた地域のリーダーや世界に飛び立つ人財を育成する。 ○ 併設型中高一貫教育の特色を生かし、中学生、併設型中学校から高校に進む内進生と高校から入学する高入生が互いに切磋琢磨することにより、個性や能力の一層の伸長を図る。 ○ 生徒や保護者が6年間の中高一貫教育も選択できるようにすることにより、地域の中等教育の多様化を推進する。 |
| 主 な 内 容 | <p>《見通しをもって粘り強く取り組む力を身に付け、豊かな人間性を育み、地域や世界で活躍する人財を育成》</p> <p>1 地域の中で学ぶ6年間の教育活動を柱に、探究活動等を通じて国際教育や科学教育などを展開</p> <p>(1) 輝け！私たちの未来「探究プロジェクト」(別紙)</p> <p>R2開校の附属中学校5校が連携し、遠隔教育システムを用いて、生徒が協働で企画・運営</p> <p>〈中学1～3年〉 教育関係者等と語る「未来の自分発見講座」 各地域の課題をテーマとした「探究意見交換会」</p> <p>〈中学1年〉 イングリッシュ・スタディ 〈中学3年〉 探究活動成果発表会</p> <p>(2) KASHIMAメソッド 地域の伝統や文化、産業の理解を深め、国際分野、科学分野で活躍する人財の育成に資する。</p> <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間 「地域探究セミナー」を開設 探究テーマ例 … 鹿島神宮、鹿島臨海工業地帯 ・KASHIMAおもてなしプラン 例 … 外国人観光客へ、英語などを活用した観光案内 ・京都修学旅行（中学3年） ※ 日本の歴史と文化の理解、外国人旅行者との交流 <p>【高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深い学びを実現する「学校設定科目」 「ACE-プログラム」(国際コース(高校2・3年)) 英語により日本と外国の文化について発表し合うことで、豊かな国際感覚を身に付ける。 「鹿島学」(人文コース(高校3年)) 地域の産業や歴史、文化等を学ぶことにより、郷土を愛する心を醸成するとともに、地域社会で活躍する資質を養う。 「プロジェクト-K」(医療・理工コース、理数コース(高校2・3年)) 先端の医療や工業技術などについての探究学習等により、科学的な思考力を養う。 <p>2 一つ一つの知識をつなげ、確かな学力を育成(中学校)</p> <p>(1) 教育課程の特例を生かした先取り学習と授業時数増を実施</p> <p>〈先取り学習〉中学校段階において、高校の国語・数学・英語の内容の一部を実施 〈授業時数増〉週当たり32時間(標準授業時数29時間)、1単位時間50分 国語・数学・理科・英語で実施</p> <p>(2) 国語・数学・英語で習熟度別学習等を実施 1学級を2つに分けるなどして、基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力等の育成</p> <p>3 豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成</p> <p>(1) 複数担任制を導入(中学校) 生徒自身が自己の存在感を実感できるよう定期的な面談を取り入れるなど、多感な発達段階をサポート</p> <p>(2) 異年齢交流の取組 文化祭や体育祭などの学校行事、総合的な学習の時間等において実施</p> |

鹿島高等学校・附属中学校について

1 目指す学校像

- 6年間を見通した教育実践をとおして、確かな学力を育むことのできる学校
- 様々な人々との交流を通じて、豊かな人間性とコミュニケーション能力を育むことのできる学校
- 文武両道の精神のもと、心身の健全な発達を育むことのできる学校

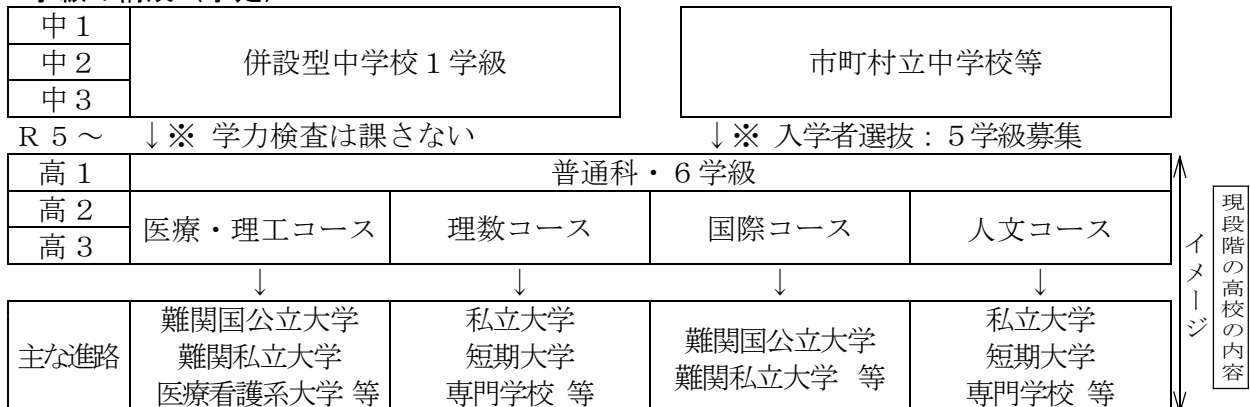
2 育てたい生徒像

- 国際感覚を身に付け、グローバル化が進展する社会で活躍することのできる生徒
- 思考力・判断力・表現力を身に付け、主体的に課題を解決できる生徒
- 「自治・勤勉・快活」の校訓にもとづき、地域のリーダーとなることのできる生徒

3 併設型中学校入学者選抜方法（予定）

- 適性検査Ⅰ（45分間）
小学校で学習した内容を基に、思考力、判断力及び課題を発見し解決する力などをみる。
- 適性検査Ⅱ（45分間）
文章や資料を基に、読解力、分析力及び自分の考えを表現する力などをみる。
- 面接（1グループ20分間程度）
5人程度を1グループとした集団面接とし、学習への意欲や6年間一貫の学校生活への適性などをみる。

4 学級の構成（予定）



- 内進生、高入生による混合学級編制を行う（高2から）。

〈高2〜〉教育課程や生徒の進路希望、適性等に応じた、内進生、高入生による混合編制（予定）

- ※ 混合時期や学級編制などは、高等学校学習指導要領の改訂（R4〜）及びその他の国の動向（文系・理系の類型にかかわらず様々な科目をバランスよく学ぶことなど）等を踏まえ、今後も検討する。

5 生徒数の推移（予定）

| 学年等 年度 | 併設型中学校 | | | | 鹿島高校 | | | | 合計 |
|-----------|--------|----|----|-----|--------------|-----|-----|-----|-----|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 計 | 1年(内, 高) | 2年 | 3年 | 計 | |
| R 2 | 40 | — | — | 40 | 240(—, 240) | 280 | 280 | 800 | 840 |
| R 3 | 40 | 40 | — | 80 | 240(—, 240) | 240 | 280 | 760 | |
| R 4 | 40 | 40 | 40 | 120 | 240(—, 240) | 240 | 240 | 720 | |
| R 5 | 40 | 40 | 40 | 120 | 240(40, 200) | 240 | 240 | 720 | |
| R 6 | 40 | 40 | 40 | 120 | 240(40, 200) | 240 | 240 | 720 | |
| R 7 | 40 | 40 | 40 | 120 | 240(40, 200) | 240 | 240 | 720 | |

※（内）：併設型中学校から無試験で進む内進生，（高）：高校から募集する高入生

6 その他

(1) 高校の学習 新学習指導要領の実施にあわせて検討

(2) 高校での主な部活動

（運動部）サッカー、陸上競技、剣道、卓球、野球、弓道、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス
（文化部）吹奏楽、将棋、美術、書道、KLC（鹿島リーダーズクラブ）、英会話、科学、イラスト研究

※ _____ は中学での開設を検討（異年齢交流の推進）

輝け！私たちの未来「探究プロジェクト」

～併設型中学校（1学級）5校（令和2年度開校）の特色ある取組～

〈ねらい〉

併設型中学校5校の生徒が、自分たちで事業（内容）を企画・立案し、他校の生徒たちとの協働による課題解決を体験することをとおして、

- 問題発見・解決能力を身に付ける。
- 人間関係を形成していく能力、豊かな人間性や社会性を身に付ける。

これらのことにより、将来、地域や世界で活躍するために必要な資質や起業家精神を育成する。

〈内 容〉… 遠隔教育システムを導入し、5校の生徒たちが4つの事業を協働で企画・立案

ア 教育関係者等と語ろう！「未来の自分発見講座」（中学1～3年）

本県の施策や課題、未来などのテーマのもと、教育関係者等による講話や懇談会、5校の生徒たちとの意見交換や交流等をおして、将来の地域や世界で活躍するリーダーとしての素養を身に付ける。

イ 各地域の課題をテーマとした「探究意見交換会」（中学1～3年）

遠隔教育システムを活用し、研究テーマや研究の進め方などについて意見交換することをおして、一人一人の深い学びの実現に資する。

ウ イングリッシュ・スタディ（中学1年）

本県のALT（最大40人）と5校の生徒たちとの英語によるワークショップをおして、高い英語力を身に付けるとともにコミュニケーション能力を高め、プレゼンテーション力を育成する。

また、共同生活をおして、望ましい人間関係を形成し、豊かな人間性や社会性を身に付ける。

エ 深い学び実感！「探究活動成果発表会」（中学3年）

3年間で体得した「地域や世界で活躍するために必要な資質や起業家精神」を踏まえ、総合的な学習の時間や教科横断的な学習で取り組んだ探究活動について英語と日本語で発表し、一人一人が深い学びを実感することで、国際感覚豊かな考え方を養うとともに思考力や表現力などを育成する。